

特定非営利活動法人 みやぎスマートアグリ 定時(第5回)総会資料

会計期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

伊藤博章

次 第

開会宣言
理事長あいさつ
議長選出

議事

【議案第1号】

- ①平成28年度事業報告
- ②平成28年度会計報告・監査報告

【議案第2号】

- ③平成29年度事業計画(案)
- ④平成29年度収支予算(案)

その他

議事終了

閉会宣言

「議案第1号①」

事業報告書

＜事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日＞

特定非営利活動法人 みやぎスマートアグリ

I. 事業の実施に関する事項（報告）

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 農のある暮らしに取組に関する事業

【具体的活動実績なし】

【収入】 : 0円

【支出】 : 0円

(2) 青少年スポーツに関する事業

【具体的活動実績なし】

【収入】 : 0円

【支出】 : 0円

(3) 子供の健全育成に関する事業

【具体的活動実績なし】

【収入】 : 0円

【支出】 : 0円

(4) 経済活動の活性化に関する事業

(5) 人生再起に関する事業

【平成28年度NPO等による心の復興支援事業】

【収入】 : 2,000,000円

【支出】 : 2,000,000円

「浦戸宝島つながるプロジェクト」

【活動概要】

(1) 震災後事業再建できていない漁業者を主体とした、体験交流型生産・観光モデル施設として牡蠣の浅海養殖施設を生業再開した養殖漁業者と「施設の賃借及び管理業務提携」契約（※1）を締結し、当該施設や浦戸諸島の地域資源を活かした、体験交流型生産・観光プログラムを実施した。

（※1：公共の場を利用して行われる漁業は、漁業権や漁業法などの法令により、多くの制限を受けることから、既存の当該活動地域の漁業者と提携することが必要となる）

(2) 地域課題である高齢化や人材不足及び多様化する市場ニーズに柔軟に対応した、例えば、小粒の殻牡蠣がオイスターバーなどで現在必要とされている事やエンドユーザーから受け入れられる食べ方の提案を、6次産業化としてのモデルを構築し、収益性の高い成功モデルを確立し、被災により離職した島民や、島の未来を担う後継者の働く場を創出する可能性モデルを実施した。

【以下のイメージを当該活動地域のプロジェクト参加住民等と共有して事業を開始した】



【活動内容（１）】

ア) 震災後事業再建できていない漁業者（内海信吉さん：災害公営住宅在住）を代表とした、応募事業名と同じ「浦戸宝島つながるプロジェクト」を立上げ、当該地域の被災者で、生業再開した牡蠣養殖漁業者（鈴木保さん）と提携して、体験交流型生産・観光モデル施設を確保した。



イ) 当該施設や浦戸諸島の地域資源を活かした、体験交流型生産・観光プログラムを、企画運営協力団体の一般社団法人e-frontと協働し、合同会社がんばる浦戸の母ちゃん会（JFみやぎ浦戸支所女性部が震災後6次産業化事業者として法人化）と連携して実施した。

体験プログラム実施のための、当該地域住民等との協議及びノロウイルスやプログラムの告知及び募集など時間を必要としたことから、実施が3月に集中したが実施可能なプログラム造成ができた。

<内容基本詳細>

- ・参加料：1,300円（昼食代：1,000円＋保険代300円）

お弁当は、がんばる浦戸の母ちゃん会が担当し、保険は一般社団法人e-frontが担当

- ・交通費：参加者自己負担（市営汽船 塩釜～野々島間 料金1,100円）

- ・集合：9:10am（マリンゲート塩釜）

<体験交流型生産・観光プログラム造成に向けた取り組み>

第1回目

実施日 : 平成28年12月10日
場 所 : 塩竈市内
参加者 : 5名
内 容 : 当該事業の決定通知が到着したことを
受け事業実施に向けた、体験交流型生
産・観光プログラム造成のための会。
・地域資源の掘り起こしなど



第2回目

実施日 : 平成28年12月20日
場 所 : 塩竈市内
参加者 : 5名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のため
の会議。
・プログラムの詳細など



第3回目

実施日 : 平成28年12月25日
場 所 : 桂島地区
参加者 : 5名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のため
の会議。
・フィールド視察①



第4回目

実施日 : 平成29年1月15日
場 所 : 塩竈市内
参加者 : 15名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のため
の会議。
・受け入れ態勢についてなど



第5回目

実施日 : 平成29年1月27日
場 所 : 塩竈市内
参加者 : 5名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のため
の会議。
・お弁当や特産品の販売等について

第6回目

実施日 : 平成29年2月6日
場 所 : 桂島・野々島
参加者 : 4名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のための会議。
・島のいきもの探し探検モニターツアー造成フィールド視察②



第7回目

実施日 : 平成29年2月18日
場 所 : 桂島地区
参加者 : 9名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のための会議。
・試食体験など安全性や役割分担について



第8回目

実施日 : 平成29年2月26日
場 所 : 塩竈市内
参加者 : 7名
内 容 : 交流型生産・観光プログラム造成のための会議。
・申し込み状況確認など事業実施に向けた打ち合わせ



<体験交流型生産・観光プログラム実施日・参加者数・実施内容>

第1回目

実施日 : 平成29年3月4日(土)
参加者 : 10名(大人8名、子供2名)
内 容 : だんべっこ船&ワカメ狩り・牡蠣棚モニターツアー



第2回目

実施日 : 平成29年3月5日(日)
参加者 : 10名(大人7名、子供3名)
内 容 : だんべっこ船&ワカメ狩り・牡蠣棚モニターツアー



第3回目

実施日 : 平成29年3月11日(土) 12日(日)
参加者 : 16名(大人16名、子供0名)
内容 : 島歩きガイドウォーキングモニターツアー



第4回目

実施日 : 平成29年3月25日(土)
参加者 : 9名(大人4名、子供5名)
内容 : 島のいきもの探し探検モニターツアー



【事業によって得られた成果】

①直接的な効果(アウトプット)

持続可能性を確保するために、コミュニティビジネス(現状:任意団体)を上げたので、通年での経営資源として期待できる可能性がみえた。(各イベントが定員をオーバーする申し込みがあったことから)

②風化防止・地域活性化などの波及的効果（アウトカム）

モニターツアーを通して、お弁当@1,000円×35人（大人）＝35,000円、塩竈市市営汽船乗船料1,100円×35人（大人）＝38,500円、特産品の販売約30,000円などの売り上げがあり、地域活性化に寄与できた。

【活動内容（2）】

ウ）地域課題である高齢化や人材不足及び多様化する市場ニーズに柔軟に対応した、例えば、小粒の殻牡蠣がオイスターバーなどで現在必要とされている事やエンドユーザーから受け入れられる食べ方の提案を、6次産業化としてのモデルを構築し、収益性の高い成功モデルを確立し、被災により離職した島民や、島の未来を担う後継者の働く場を創出する可能性モデルを造成するために以下の事業を実施した。

『モデル1』牡蠣オーナー制度

<内容・成果>

全国の牡蠣オーナー制度の取り組み事例を、インターネットを活用して調査し、事業モデルとしてどのように構築すればいいのか検討を行った。

その結果、次年度（平成29年）に、希望者を募るなど新しい事業として取り組みを進めることになり、今年度実施した、体験交流型生産・観光プログラムの経験を活かしながら、現在、企画を構築し、事業計画への落とし込みをする準備をしている。

『モデル2』椿オイル漬け牡蠣 製品開発

<内容・成果>

「島では、おじいちゃん・おばあちゃんの時代、自生する椿の実を収穫し、自家で搾油し、食用油として活用していたな～」と、島の地域資源としての活用を考えた島民と、合同会社がんばる浦戸の母ちゃん会と浦戸宝島つながるプロジェクトで、牡蠣の6次産業化（剥き牡蠣を生産する際に、どうしても身を傷つけて商品にならない物が、生産全体の2割程度あることから、加工して商品化することを検討している。）としての商品開発に向けた取り組みを進めた。

この取り組みを進めるためには、販路開拓先との共同での商品開発が必要なことからパリなどに地域のこだわりの商品を個数限定で販売している、二瓶社長様にも参画をいただきオリーブ漬けの牡蠣は、ヨーロッパなどでの販売は難しい。理由は、オリーブを使う歴史が日本とは違いすぎる。しかし、椿油とのコラボは、海外では新鮮に受け止められると思う。とアドバイスを受けて、椿の植栽を体験交流プログラムに入れることなどや食用として搾油するための施設、商品としての開発など継続して取り組みをすすめることとなった。



平成28年に試験販売された、島の椿油と蒸し牡蠣を試食検討時の様子。参加者は、母ちゃん会代表内海さん、牡蠣生産者鈴木さん、浦戸宝島つながるプロジェクト代表内海さん。

『モデル3』 殻牡蠣での販路開拓

<内容・成果>

平成28年度の宮城県の牡蠣販売は、最盛期の12月にノロウイルスなどの問題から出荷規制があり、生食用牡蠣の販売が振るわなかった。また、剥き牡蠣の剥き子となる人材の不足から廃業する牡蠣養殖事業者も増えている地域課題を解決する事業モデル構築を行った。

約3ヶ月をかけ、通販サイトでの全国の殻牡蠣販売状況調査、原材料費や販売管理費など詳細に検討し、牡蠣の一大産地である広島を競合相手と想定し、販売価格及び戦略を検討するとともに、加工賃（出荷できる荷姿に仕上げるまでの工賃）を加えて、販売単価を積算し、事業計画をつくり、顧客モデルへのサンプル出荷などを経て、3月上旬に「自宅で牡蠣小屋体験 蒸し牡蠣セット」の販売を開始した。

東北農政局さんから、「食べて応援しよう in 仙台」への出店依頼があり、試食販売で、牡蠣の安全性をアピールするとともに、「自宅で牡蠣小屋体験 蒸し牡蠣セット」など浦戸の食材を販売した。（3月18日と3月19日の二日間）



現在、毎日、注文書がファックスで届き、当初、島の住民からは、値段が高いから売れないといわれていたが、毎日 1個・2個と継続して出荷があるので、注目を集めている。



【事業によって得られた成果】

①直接的な効果（アウトプット）

・「自宅で牡蠣小屋体験 蒸し牡蠣セット」は、エンドユーザーに受け入れられること及びビジネスモデルとして実証できたことから、コミュニティビジネスとして任意団体で立ち上げた、「浦戸宝島つながるプロジェクト」の経営資源ができた。このことにより、次年度も継続して事業実施

が可能となった。販売開始から2週間で約10万円の売り上げになっている。

・蒸し牡蠣セットは、高齢者でも簡単にできる作業に対して定額での工賃（400円/缶）が支払えるので、実益と作業を通して、体が動く高齢者が集うことで、生きがいが生まれる場を実装できた。

・椿オイル漬け牡蠣については、地域資源の安定した供給に向けた環境整備を整えながら、フランスでの販売に向けた商品開発を続けていく目標が明確になった。

・牡蠣オーナー制度について、牡蠣生産者と協働で、次年度モデル事業を実施するための協議を始めている。

②風化防止・地域活性化などの波及的効果（アウトカム）

・新しい地域特産の牡蠣の販売モデルを構築したことで、牡蠣養殖事業者がいなくなるのではないかと危惧されている現状で、何とか事業を継続している牡蠣養殖事業者から、注目を集めている。

・殻牡蠣の当該地域での販売単価を「蒸し牡蠣セット」販売により、1.5倍に引き上げることができた。これは、県内の牡蠣生産主要地区に匹敵する価格帯であり、当該住民の常識を打ち砕くことができた。

(6) 高齢者に関する事業

【内容】

*塩釜市パークゴルフ協会の運営協力。毎月の月例会企画運営など。

平均80名の高齢者健康づくりに寄与しました。

【収入】 : 0円

【支出】 : 0円

[2] その他の事業

【活動実績なし】

「議案第2号①」

事業計画（案）

＜事業期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日＞

特定非営利活動法人 みやぎスマートアグリ

I. 事業の実施に関する事項（計画）

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 農のある暮らしに取組に関する事業

【内容】

*1)

(2) 青少年育成に関する事業

【内容】

(3) 青少年スポーツに関する事業

【内容】

(4) 子供の健全育成に関する事業

【内容】

(5) 経済活動の活性化に関する事業

【内容】

* 起業家育成した事業者の継続した支援。

(6) 人生再起に関する事業＋経済活動の活性化に関する事業

【内容】 継続事業

事業目的：浦戸諸島の伝統的生業と地域資源を活かした体験型グリーンツーリズムを確立することにより、被災により廃業した地元一次産業従事者の雇用創出と伝統の継承、交流人口の増加を図る。

事業概要：被災により離職した島民や、島の未来を担う後継者の働く場を創出する。

(7) 高齢者に関する事業

【内容】

* 塩釜市パークゴルフ協会の運営協力。毎月の月例会企画運営など。

ニュースポーツを活用した高齢者の生きがづくり事業。

* 「パークゴルフの効果を活かした、多世代の共生・交流・健康づくりを実装し、新しい協働の仕組みづくりを提案し推進する事業」

「議案第2号②」

特定非営利活動法人みやぎスマートアグリ（全事業所）
 特定非営利活動に係る事業予算（案）：[税込]（単位：円）

特定非営利活動法人みやぎスマートアグリ（全事業所）

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

【経常収益】	181,193
【繰越高】	91,193
前年度繰越金	91,193
【受取会費】	90,000
正会員受取会費	80,000
賛助会員受取会費	10,000
【受取助成金、受取補助金】	0
受取助成金	0
受取補助金	0
【受取利息】	0
受取利息	0
【経常費用】	150,006
【事業費】	150,006
①農のある暮らしに取組に関する事業	1
②青少年育成に関する事業	1
③青少年スポーツに関する事業	1
④子供の健全育成に関する事業	1
⑤経済活動の活性化に関する事業	150,000
⑥人生再起に関する事業	1
⑦高齢者に関する事業	1
【売上総利益】	31,187
【売上総利益率】	17.2%
【管理費】	0
(人件費)	0
役員 報酬	0
役員 賞与	0
退職金	0
退職給付費用	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
【営業利益】	31,187
【営業利益率】	17.2%
【経常外収益】	0
経常外収益	0
【経常外費用】	0
経常外費用	0
【経常利益】	31,187
【経常利益率】	17.2%